

## 令和3年 年頭所感

代表取締役社長  
宮内 征

新型コロナウイルス感染症の収束を願いながら、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により社会・経済・経営が未曾有の事態になり、あたりまえの生活、あたりまえの行動、あたりまえの営業・経営などができなくなりました。あたりまえと思っていたことがとても重要なことであることに気付かされた年でした。

このような中で当社グループの業績は、第1四半期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けましたが、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様のおかげで第2四半期以降は回復基調での推移になりました。

当社グループの市場は、今後とも国策の「既存住宅の長寿命化とメンテナンスを重視する方針」に変化がなく、莫大な潜在需要規模もそのまま存在するとみております。一方で、景気は依然として厳しい状況にありますが、個人消費は持ち直しの動きがみられました。

本年は、新型コロナウイルス感染症収束の遅れによって経済活動拡大が弱まる可能性はありますが、当社は昨年来実施してまいりましたお客様と社員の感染防止をより一層徹底して、業績の拡大に取り組んでまいります。



具体的には、当社グループの創業以来の軸商品でありますシロアリ防除の必要性を訴求するための広告宣伝活動、優秀な人材の増強、エリア拡大に努め、総合的営業力の向上を目指してまいります。当社グループは、今後とも「人と技術を育て、人と家と森を守る」という経営理念のもと、地域社会に密着して、既存住宅の長寿命化を図ることで社会貢献に努めてまいりますので、引き続きあたたかいご支援を賜われますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルスに感染された方々の早期回復、医療従事者の方々の負担軽減、そして早くあたりまえの日々に戻ることができますよう、心から願いまして、新年のご挨拶にさせていただきます。